

学生時代を謳歌するなら、やっぱりサークルでしょ。
We Love Circle



部長の井口千鶴さん(右)と
艇長の松野由佳さん(左)

長崎大学水産学部 女子カッター部



速くスムーズに漕ぎ進めるためには、
海況を的確に読む必要がある。

開放感いっぱいの中で、 青春の汗を流そう!

どこまでも広がる海原へ、小さな艇で漕ぎ出した部員たち。一糸乱れぬオールさばきで、きらめく波間をスイスイと行く姿に、マリンスポーツならではの爽快感が伝わってきます。「女子カッターは、艇長(リーダー)、舵取り役、艇指揮(漕艇時の号令役)、そして6人の漕ぎ手の計8人が艇に乗り込み、女子の場合は1kmのタイムを競うスポーツです。一生懸命、漕ぎつた後は、大きな達成感があり、すこく気持ちがいいですね」と話すのは、部長の井口千鶴さん(水産3年)。日焼けした笑顔がとても素敵な人です。

「カッターとは、そもそも救命艇のこと。この競技には、将来、海に関係する職業に就く学生たちに、シーマンらしき乗りに付けさせるという目的があります」というわけで、カッター部は、全国的に海上の防衛、保安系、商船系及び水産系の学校や大学の学部だけにしかない、ちょっと特殊な部活動です。

長崎大学には、半世紀の伝統と実績を持つ男子カッター部があります。男子の漕ぐ姿に感動して、5年前に女子部がつくられました。その男子の指導を仰ぎながらメキメキと実力をつけ、創部半年にして「西日本新人カッター競技大会」で優勝するという快挙を成し遂げました。



今年5月20日に神戸で開催された「全日本カッター競技大会」で、念願の初優勝!

時津港での練習に向かう部員たち。「端艇(たんでい)」とはカッターのこと。



その後も同大会では2回優勝。さらに今年5月には、「全日本カッター競技大会」で優勝するなど、早くも強豪チームの仲間入りを果たしています。「オールは全身を使って力いっぱい漕ぐので、普段から筋力トレーニングなど基礎体力づくりは欠かせません。練習はけっこうきついですが、心身ともに鍛えられ、何ごとにもあきらめな

い気持ちで養われます」。体力に自信がない人でも、カッターの魅力にはまると意外にやっつけていけるものだから。「海で青春を楽しみたい!漕ぎたい!と思う人はぜひ、入部してください!」

部のモットーは、「強く、楽しく、美しく」。

ハードな練習も、仲間と一緒に乗り越えられる。

